

令和3年の会長に昭和鯨城会の細野博行さんが再選されました。

選挙管理委員会からお知らせです。令和3年2月1日(月)に会長選挙が行われました。立候補者は細野博行さん1名で信任投票によって当選となりました。

会長あいさつ 31期 地域A 細野博行

令和2年度に引き続き、3年度も会長職を継続することとなりました。2年度はコロナ緊急事態が発令されて、4月から6月まで会議もできない状況でした。またグランドゴルフや16区フェスティバル、鶴舞公園ボランティア活動など行事はすべて中止となりました。会の活動が全く停滞した特異な年でした。

3年度になってもコロナ禍はまだ見通しがつきません。しかし行事は例年通りの計画をたて、実現に向けて一丸となって取り組む所存です。またできる限りボランティア活動をしっかり行い、会の存在感を確保してゆきたいです。会員の皆様には健康に留意して、活動に参加下さいますようお願いいたします。



鯨城学園 副学長 南谷 定昭

鯨城会の皆様いかがお過ごしでしょうか。現在、学園では令和3年度の新学期を安心安全にスタートできるよう、職員一丸となって準備を進めております。4月から果たしてどうなるか。「なるようにしかならない」と覚悟して毎日を過ごすこの頃です。さて、コロナ禍で「自粛警察」なる言葉が生まれました。行政の自粛要請に応じない人や事業者に対して私的に取り締まりや攻撃を行う人や行為を意味します。その背景には自粛を続ける中での疲労や不満、不安、正義感、嫉妬心など様々な要因が考えられます。もとより自粛はあくまで自分の意志で行うものであり、自分自身の行動のみならず他人の行動にまで過剰な興味を持ち、干渉するのはいかがなものかと思うのは私だけでしょうか。日本には「傘かしげ」という言葉があります。雨の日に互いに傘を外側に傾け相手が濡れないようにすれ違う行為です。他者を思いやる心が行動になってあらわれる、利他的行動です。こういう時だからこそ、他者を思う気持ちを大切にしたいと思います。今年もよろしくお願ひします。

東鯨城会 「コロナ禍での活動」

本年4月新役員の下、新しい活動がスタートしましたが、2月終わりからコロナウイルスの猛威、拡散が始まり、あらゆる活動が自粛、中止に追い込まれました。現在の会員数は79名（前年より9名減）の下、今年は「皆で語らい、楽しむ」を重点テーマとして掲げましたが、殆どの活動が実施できず、ボランティアとしても「なごやかハウス出来町」社会奉仕で「東区民まつり」がありますが、本年度はすべて中止になりました。しかし、活動自粛中でも、お互いのソーシャルディスタンスを取りながら「東邦ガスエネルギー館」や「八事興正寺散策」同好会として「ギンナンの町祖父江町散策」が実施できたことは楽しい思い出として残りました。

今後は、コロナ禍が収まる事を期待しつつ、新年度に向けた「みんなで楽しむ」計画を皆で考えて企画して行こうと思います。



東邦ガスエネルギー館

熱田鯨城会 夏の楽しみバーベキューで納涼会

夏だ、ビールだ、バーベキューだ。暑い盛りの中、毎年恒例の納涼会をバーベキューで楽しみます。

野外の青空の下で汗いっぱい流しながら肉を焼いたり、屋上のビアガーデンで夕涼みしながらやったりと、食材の焼けるうまそうな煙



の中で、食べて、飲んで「わいわいがやがや」と話に花を咲かせて

暑気払いをします。今年はコロナの影響もあり参加者も例年の半分以下でしたが、店側の配慮もあり楽しい時間を過ごしました。多くの行事が中止となる中での納涼会でしたが、次年度はオリンピックと共に楽しめることを願うばかりです。



港鯨城会 コロナ禍の「趣味の作品展」

令和2年度はコロナで始まり、コロナで終わろうとしています。港鯨城会の今年度の各行事もほとんどが中止となっておりますが、港鯨城会の歴史ある「第18回趣味の作品展」だけは、コロナ感染の第3波が押し寄せつつあった12月4日（金）より3日間、感染防止対策を十分にとって名古屋港ポートビル回廊ギャラリーで開催いたしました。

出展された作品は、写真・パソコンアート・水彩画・書道・陶芸・手芸・園芸と多種にわたり、また来場者も昨年を上回る140名にのぼりました。来年度は各種行事が予定通りすべて開催出来ることを心から願っております。



名古屋港ポートビル回廊ギャラリー

天白こじょう会 コロナ禍で恒例の針名神社初詣も中止しました

新型コロナに振り回された1年でした。新年の恒例行事として、地元で創建1100年以上の歴史を持つ針名神社に参拝し会の発展と会員の健康を祈願していましたが、今年は新型



農業センター

コロナの感染拡大により取りやめました。ちなみに今年の祈祷は15名に制限されていました。写真は昨年祈祷を受けたときのものと、すぐ近くの農業センターで秋に生まれた子牛たちです。(丑年にちなんで)



昨年祈祷を受けたときのもの

「瑞宝双光章」受賞報告 昭和鯨城会

令和2年11月3日昭和鯨城会員31期陶芸専攻で「社会福祉法人名古屋ライトハウス」理事長の近藤正臣さんが、令和2年秋の叙勲で瑞宝双光章を受賞しました。受賞理由は「社会福祉功労」として名古屋ライトハウスが運営する重度の就労支援施設の創設と育成に努め、また諸障害者団体で活動し障害者の自立促進に寄与した事によるものです。

経歴は昭和52年名古屋ライトハウスに入職し、昭和54年には重度身体障害者授産施設(障害者が働く施設)の開設と施設長に就任し平成29年には理事長となって現在に至っています。平成7年には愛知県セルフセンター(愛知県下の就労支援施設で作られた製品の販売・官公需等の受注組織)会長、平成21年には全国社会就労センター協議会(就労支援施設の全国組織)会長に就任するなど、公職としても社会就労の重責を担ってきました。《寄稿：昭和鯨城会会長 小川賢雄》



「藍綬褒章」受賞報告 南区こなみ会

こなみ会会員の子安真知子(32期園芸専攻)さんが、褒章を受章されました。受章された喜びの声と、これまでの苦労話などをお聞きいたしました。

令和2年度秋の叙勲で、思いがけず藍綬褒章を頂き身に余る光栄でございます。今回の受章は、名古屋家庭裁判所調停委員として20年余り務めさせて頂いたご褒美と有難くお受けしました。調停委員へは耳の不自由な方への手話通訳や筆記の活動をしていた当時、調停委員の方からお誘いを受け、私にはとてもと辞退させて頂きましたが長男の勧めもあり、再度の推薦をお受け致しました。

調停の申立てには、離婚(養育費など)・遺産分割など

多くあります。当事者の方々にとりましては辛く苦しい悩みであり、幾度も経験する事のない重大な問題です。双方の立場に寄り添い定められた法律の中で、当事者への想いやりを持ち、話し合いを通して納得して頂きますよう、一件一件丁寧に傾聴し、真摯に誠実にと心掛けてまいりました。退任後は関連して相談員の仕事に携わっていただけると考えております。これまでの間、公私共に支えて頂きました皆さま方へ深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



令和3年度【2021年度】 鯨城会主要計画

主な行事の日程です。詳細については代議員会などでご報告します。
日程は変更もありますので、その都度ご確認下さい。

◇ 主要行事

- ・ 第20回グラウンドゴルフ交歓会 10月13日(水)
場所 庄内緑地公園
- ・ 公開講演会 10月21日(木)
場所 伏見鯨城ホール
- ・ 第4回16区フェスティバル 11月2日(火)
場所 千種スポーツセンター
- ・ 第12回OB文化祭 令和4年3月8日(火)
場所 伏見鯨城ホール

◇ ボランティア活動

- ・ 鶴舞公園クリーンキャンペーン 10月2日(土) 予備日 9日
- ・ 堀川清掃大作戦 11月6日(土) 予備日 13日
- ・ 名古屋ウイメンズマラソン 令和4年3月13日(日)

◆ 学園行事

- ・ 入学式 4月9日(金)
- ・ 第2回 地域ミーティング(対象34期)
. 6月14日(月) ~ 18日(金)
- ・ 第1回 地域ミーティング(対象35・36期)
. 11月17日(水) 午後・19日(金) 午前
- ・ 区会説明会(対象34期) 令和4年1月21日(金) 午前
- ・ 鯨城会入会申込日(対象34期) 令和4年2月16日(水)・2月18日(金)

編集後記

- 令和2年度はコロナ禍により各行事は中止となりました。3年度の行事の計画は例年通りとしました。コロナ禍が収まり実施できる希望をもちています。
- 16区コーナーは、今回の4区の記事で終わりました。次の企画を考えています。楽しい企画の記事があれば、会員の皆様のお知恵をお借りしたいです。
- 令和2年秋に叙勲されました会員をご紹介します。
- 学園は令和3年度の入学案内を作成し配布しています。鯨城会の会員も知人友人に声をかけて、入学者の勧誘に協力をしましょう。